

人権まんが 解説

エイズ（後天性免疫不全症候群）とは、

免疫不全症候群）とは、

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）によつて引き起こされる免疫不全症候群のことです。1981年（昭和56年）にアメリカ合衆国で最初の症例が報告されました。それ以来、世界的な規模で拡がり続けています。日本でも、1985年（昭和60年）に最初の患者が発見されてから、性的接触による感染を中心に患者数が増えています。

エイズ患者やHIV感染者に対しては、病気に對しての正しい知識や理解の不足から、これまでに多くの偏見や差別意識が生まれ、そのことが原因となつて、就職拒否や職場解雇、アパートへの入居拒否・立ち退

き要求など、社会生活のいろいろな場面で人権問題が起つています。

しかし、HIV感染症は、その感染経路が、性的接触によるもの、血液を介するもの、母子感染の3つに特定されているため、正しい知識に基づいて日常生活を送る限り、いた

ずらに感染を恐れる必要はありません。また、近年は新しい治療薬が開発されて、エイズの発症を遅らせた

り、症状をやわらげることができるようになつています。

平成11年には、感染症患者の人権を重視した「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が施行されました。今後は、患者や感染者に対する理解を深め、偏見や差別を解消していく必要があります。

人権の尊重される社会の実現に向けて

一人ひとりが、人間らしく生きていく権利を持っています。一人ひとりが、幸福をめざす権利を持っています。

5月3日の憲法記念日を中心として、5月1日から7日までの一週間は憲法週間です。だれも侵すことのできない永久の権利である「基本的人権」は、多くの人々が長い歴史の中で、たゆみない努力を重ねて確立したかけがえのない権利です。

21世紀は「人権の世紀」と言われており、憲法週間の機会に、「自分の人権が守られているか」「他の人の人権が侵害されていないか」など、身近なことから、みんなが「人権」について考え、一人ひとりがお互いを尊重し合い、同和問題をはじめ女性、子ども、障害者など様々な人権問題の解決に向けて主体的に取り組み、明るく住みよい社会を築きましょう。

○人権侵害の原因となる「身元調査」等を拒否しましょう。

○同和問題の解決を阻害する「えせ同和行為」を排除しましょう。

○インターネット上の差別書き込み等を根絶しましょう。

人権啓発パネル 人権まんが「未来ちゃん」の パネル貸出について

本誌に連載中の人権まんが「未来ちゃん」の啓発パネルに、次の3枚が新たに追加されました。人権に関する研修会や地域での人権啓発などでご利用いただけます。無料で貸し出しを行います。

第14回 身元調査おことわり
(同和問題)

第15回 共に生きる
(障害のある人の人権)

第16回 それぞれ違う「当たり前」
(在住外国人の人権)



問合せ・申込み

吉田文化会館

☎01069

よしだ文化会館だより ④